

G&YUBATTERY

品番：NAG101

OBD2

# メモリーバックアップ ケーブル



愛車のデータを安心バックアップ!

## バッテリー交換時の必需品!!

- ★ バッテリー交換時にバックアップ用バッテリーを用いてこのケーブルを接続することで車両に記録されているデータを保持します。
- ★ 正常な接続を確認するチェックランプ付き
- ★ 逆流防止装置付き

## OBD2とは？

簡単に言うと「自動車の自己診断機能」のことで、自動車のコンピュータ(ECU)が管理しているさまざまなデータから自己診断を行う機能です。ECUが故障診断した場合は、故障の箇所や内容を警告ランプの点灯や明滅あるいはブザー音などの鳴動によってドライバーに知らせます。(運転席のインパネの警告灯などがその一例です。)

現在の車両はOBD2コネクターの設置が義務化されているので、運転席の足元あるいは助手席の足元にコネクターがあり、故障診断機をつないで情報取得しています。

またOBD2コネクターは国際規格のため、外国車を含めた全メーカーが同じものを設置しています。

OBD2の設置車両について…

- ・アメリカ車：1996年以降、乗用車・小型車の設置を義務化
- ・欧州車：2001年以降、乗用車・小型車の設置を義務化
- ・日本車：2008年10月以降、乗用車・小型車の設置を義務化(2000年くらいから設置している車両も)

このコネクターに接続するのが、このバックアップケーブルです。

(全メーカーが統一コネクターですので、電源ラインとグランドラインを安全に確保できバックアップに利用します。)

## バックアップに関するよくある質問

### Q どうしてバックアップが必要なの？

A 現在の多くの車両は、バックアップを取らずにバッテリー交換した場合、エンジンがかからなくなったり、窓が開かなくなったり、アイドリングストップしなくなったりするなど、様々なトラブルが起こる恐れがあります。そういったトラブルの急増が原因で、バッテリーの販売が減少したり、取り扱いそのものをしなくなる販売店様もあるほどです。正しい知識を持ち、適切なバッテリー交換を行えばそれらのトラブルは回避できます。

### Q それでも知識がないから…？

A OBD2(DLC: テータ・リンク・コネクター)には常時自動車側のバッテリー電圧がかかっており、故障診断を行っています。一度バッテリーの電圧低下などの異常を感知し警告灯が点灯した場合、警告を解除するためにディーラー等で該当のDTC(ダイアグノーシス・トラブル・コード)を解除してもらわなければいけません。そのような現状ではほとんどのユーザーが、ディーラー等で高額なバッテリーを購入することになります。それであれば、日頃の点検と予防交換を促進して、安全に早目に取り換えることが「お財布にも優しい!」といった販売が良いのではないのでしょうか!

### Q もしも警告灯がついてしまったら？

A 一度DTCが出た場合、診断機やツールがないと解除できません。しかし、バッテリーの異常コードは、どのディーラー(トヨタ車であればトヨタ系のディーラー)でも、解除してもらえます!

### 【メモリーバックアップケーブル取付手順】

※この製品はOBD2端子を使用して車両データをバックアップします。事前に車両のOBD2端子の位置を確認して作業してください。

- ①車両のルームランプおよび電装品をOFFにして、キーを抜いてください。
- ②バックアップケーブルのクリップを予備バッテリーに接続してください。(赤クリップをプラス端子、黒クリップをマイナス端子に接続してください)



緑LEDが点灯していることを確認してください。

※赤LEDが点灯している場合は、予備バッテリーの電圧が低いため、充電が完了されているバッテリーに交換してください。

※LEDが点灯しない場合はバッテリーの接続が逆になっている、もしくはヒューズが切れていますので接続とヒューズの確認を実施してください。交換用ヒューズは7A用をご使用してください。

③緑LEDが点灯していることを確認して、車両側のOBD2端子にソケットを接続してください。

④バッテリーの交換作業を実施してください。(取外しても、プラス端子側には予備バッテリーから電圧を供給していますのでボディに接触しないようにカバー等をつけて絶縁してください)

⑤バッテリー交換が完了したら、OBD2端子からソケットを抜いてください。

### 取扱店